

2020年東京オリンピック・パラリンピック
千葉県プロジェクト推進基本方針
【第二版】

平成27年3月改訂

千葉県

東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト推進本部

目次

1	基本方針策定の目的	・・・	1
2	取組の方向性		
	方向性1	大会の円滑な開催に協力する	・・・ 2
	方向性2	スポーツ文化を普及し発展させる	・・・ 3
	方向性3	市内への集客、宿泊を最大化する	・・・ 4
	方向性4	千葉市の知名度を高める機会とする	・・・ 5
3	推進体制	・・・	6

1 基本方針策定の目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、あらゆる世代がスポーツに親しみ、夢や希望を持つ機会を広げ、スポーツ文化の普及と発展に大きく寄与することが期待されます。

また、日本や首都圏に国内外の注目が集まり、2020年に向けて、競技関係者をはじめ、多くの観光客やビジネス客などが訪れることから、スポーツのみならず、経済や観光、国際交流、文化、教育など様々な分野の更なる成長や活性化の好機でもあります。

本市は、競技会場や空の玄関口である成田空港に近く、東京と成田空港を結ぶ高速道路や鉄道も整っており、海外からの訪問者にとって利便性の高い位置にあり、キャンプ地となりうる競技施設、国内外の来訪者が滞在できる宿泊施設などが充実しています。

この本市の優位性を活かして、キャンプ誘致やスポーツ振興、集客の増加や魅力の発信、市民・民間企業等と連携した「おもてなし」を実施し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて支援するとともに、国内外に千葉市の知名度を高め、本市のより一層の発展につなげ、次代を担う子どもたちの夢と希望をはぐくむため、千葉市の取組の骨格としての基本方針をまとめました。

今後、この基本方針に基づき、市民の皆様自らの手による「おもてなし」などのアイデアや意見を募集し、行動計画の策定に反映するとともに、その取組が未来に引き継いでいくべき千葉市の財産となるよう推進してまいります。

2 取組の方向性

方向性1 大会の円滑な開催に協力する

本市スポーツ施設への事前キャンプ誘致や、大会への人的サポート、千葉県をはじめとする他団体との連携を通じて大会の成功に向けて協力していきます。

また、2020年に向けて気運を醸成し、大会や事前キャンプへのボランティア意欲を高め、市民の参加を促します。

◆ 1-1 事前キャンプ（練習会場）等の受入の体制づくり

- ① 事前キャンプに適した施設と競技を調査し、事前キャンプ受入に必要な整備等を検討
- ② 国内外に向けた効果的な誘致活動や、大会機運を高める取組を実施
- ③ 関係機関・団体との連携によるサポート体制の構築

◆ 1-2 ボランティア活動の推進

- ① 募集情報の一元的提供
- ② スポーツ大会を支えるボランティアの普及

◆ 1-3 千葉県と連携した取組の推進

- ① 2020年東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議の取組に協力

◆ 1-4 大会組織委員会・九都県市等関係団体との連携・協力

- ① 大会組織委員会や国内競技団体等からの情報収集
- ② 「九都県市2020年東京オリンピック・パラリンピック連携会議」での取組の推進

《取組の効果》

- 事前キャンプの誘致活動や受入を通じて、千葉市の知名度が向上
- スポーツボランティアなど市民参加の増加
- 大会後のキャンプ受入競技の普及・発展

方向性2 スポーツ文化を普及し発展させる

本市で育ったアスリートが、世界で活躍し全国に感動を与えることは、市民の誇りとなります。また、地元アスリートへの関心が高まり、応援することで選手の活躍を後押しします。

本市は、車椅子バスケットボールやウィルチェアラグビーの全国レベルの大会が開催される車椅子スポーツが盛んな街です。

地元アスリートの支援や、車椅子スポーツ等の障害者スポーツの普及を通じて、市民がスポーツ文化を支える土壌を築いていきます。

◆ 2-1 次世代地元アスリートの支援

- ① 選手強化支援や環境整備

◆ 2-2 車椅子スポーツの振興と活動の拠点化

- ① 車椅子スポーツ大会の開催支援
- ② 車椅子スポーツの練習環境の充実
- ③ 車椅子アスリートがスポーツ活動を継続できる環境の整備

◆ 2-3 スポーツ文化を育む環境の充実

- ① 市民がスポーツに親しむ環境の充実

《取組の効果》

- 地元アスリートの活躍は、スポーツへの憧れや夢を市民に与えられる
- 市民が地元アスリートを応援していく意識が醸成され、スポーツ文化が発展する
- 障害者スポーツへの理解と関心が深まり、障害者がスポーツに親しむ機会が充実する
- トップアスリートとの交流による、市民のスポーツに対する関心の高まり

方向性3 市内への集客、宿泊を最大化する

国内外に、本市の魅力アピールして「千葉市」を印象づけることや、本市の観光資源を活かし、新たな集客策を構築していきます。

また、官民の連携や市民自らの手による多彩な「おもてなし」によって、来訪者に喜んでいただき、本市のイメージの向上や、受入環境の充実などリピーターの増加につながる施策を展開していきます。

◆ 3-1 集客効果の高い観光資源、ルートの開発

- ① 千葉市海外インバウンドツーリズム推進協議会を通じた取組
- ② 本市観光資源を活かした新たな集客策の構築

◆ 3-2 外国人に向けたより効果的な広報宣伝・情報発信策の開発・実践

- ① ランドオペレーター等に対するPR
- ② MICE関係者へのPR
- ③ SNS、ウェブサイトを活用したPR
- ④ 公衆無線LAN環境の拡充による外国人観光客の利便性の向上

◆ 3-3 官民連携した「おもてなし」の実現

- ① 外国人観光客への「おもてなし」
- ② キャンプチームへの「おもてなし」

◆ 3-4 市民の自らの手による「おもてなし」の実現

- ① 市民による「おもてなし」の実施

◆ 3-5 訪れる人の利便性の向上

- ① 交通アクセスの向上
- ② 来訪者の受入環境の充実

《取組の効果》

- 世界各国の生活スタイルを理解し、自然なおもてなしのできる国際都市に
- 事前キャンプに訪れた国や団体との持続的な交流
- 地域全体で経済効果を得ることによる都市活力の向上

方向性4 千葉市の知名度を高める機会とする

国内外から訪れる人々に、千葉市の魅力や都市イメージを認知してもらうため、千葉市の歴史や文化・芸術などを発信するとともに、新たな魅力を掘り起し、千葉市固有の都市イメージを内外へ効果的に発信していきます。

そのほかにもプロジェクトの推進に関連する施策や情報を発信し、本市への関心を高めていきます。

◆4-1 千葉市の魅力の発掘と発信

- ① 千葉市固有の都市アイデンティティ（千葉市らしさ）の確立と内外への発信
- ② 千葉市の文化を発信
- ③ 救急・救命体制の充実によるイメージアップ

《取組の効果》

- 千葉市の魅力が国内外に認知され、都市イメージが向上する
- 市民の本市に対する誇り、愛着が深まる

【補足】

2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けて、関係機関等が準備を進めていく中で、この方針に変更が必要となったときは、適宜変更するものとします。

3 推進体制

東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト推進本部

本部長 市長

副本部長 両副市長

本部員 病院事業管理者、教育長、総務局長、総合政策局長、財政局長、市民局長
保健福祉局長、こども未来局長、環境局長、経済農政局長、都市局長
建設局長、中央区長、花見川区長、稲毛区長、若葉区長、緑区長、美浜区長
消防局長、会計管理者、議会事務局長

東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト推進本部幹事会

幹事長 総合政策局総合政策部長

幹事 市民局生活文化スポーツ部長、経済農政局経済部長及び関係部長等

(分野別プロジェクトチーム)

大会支援・キャンプ誘致プロジェクトチーム

・方向性1に関する取組を検討・実施

スポーツ振興プロジェクトチーム

・方向性2に関する取組を検討・実施

観光推進・おもてなしプロジェクトチーム

・方向性3に関する取組を検討・実施

千葉市の魅力発信プロジェクトチーム

・方向性4に関する取組を検討・実施

※ この推進体制は平成26年7月現在のものです。
今後、プロジェクトチーム等の体制は、必要に応じて変更していきます。